

令和2年4月27日

東京海洋大学 学生及び教職員の皆さんへ（第2報）

国立大学法人東京海洋大学

学長 竹内俊郎

皆さんには、令和2年4月2日付けの「学長からのメッセージ」において、種々のご対応をお願いしているところです。その後4週間近く経過しましたが、この間、国の「緊急事態宣言」並びに東京都の「緊急事態措置」により外出自粛などが求められる中、ストレスなどもかなり溜まっているのではないかと心配しております。

しかしながら、授業の休止が続く中で、大型連休（ゴールデンウィーク）を間近に控えているこの時期において、新型コロナウイルスの感染拡大をできるだけ早期に収束させるために、以下について徹底した対応を改めてお願いします。

1. 連休等を利用した帰省や旅行（国内、海外ともに）など、現在の居住地を越えた移動を行わないこと
2. いわゆる3密（密閉、密集、密接）を避け、自分や他者への感染リスクを最小限に留めるための行動をすること
3. 不特定多数者、特に子供や高齢者との接触を避け、感染のフォローアップが困難になるような行動を避けること

今後、国や東京都は、5月7日以降の対応に係る判断を出す予定で、文部科学省等からも追加の指針等が示される可能性があります。既に連絡しているように、本学では、5月11日から、原則としてオンライン教材や教科書などを用いた「オンデマンド方式を中心とした遠隔授業」を実施する予定です。実施に当たっては、慣れない、また、十分な通信環境が確保できない、などのご不便をおかけする場合がありますが、よろしく申し上げます。これにより、学生の皆さんは、現在の居住地において、安心して授業を受けていただければと思います。

また、本学は、「実学」を旨としての教育を行っていることから、多くの実験・実習・演習などがあります。これらの科目については、カリキュラム管理上、夏休み、秋休み、冬休み及び春休みに集中して行うことになろうかと思っております。学生及び教職員の皆さんには、大変な労力やご苦勞を強いることとなりますが、教育の質を担保する上でも、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症に打ち勝ち、元気な姿の皆さんと越中島及び品川キャンパスでお会いできることを楽しみにしております。